

き ず な
代 表 質 問

議会事務局
処 理 欄

令和7年8月13日 12時40分 受付

質 問 順 位 第 1 番

武豊町議会議長 石川 よしはる殿

武豊町議会議員 松本 万之

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 区への加入率の低下についてと区役員の担い手不足について	<p>【趣旨説明】【趣旨説明】町内各区の課題でもある、地域コミュニティ(安全・安心・福祉・防災・見守り隊・子ども会・文化活動等)を更に強化していくために自治会組織の存在が不可欠になり、現在も各区の自主的運営により成り立っていて区長以下他の役員を初めとする地域の人々でお互いをより支え合い、住みやすい町を目指し尽力されています。</p> <p>しかしながら現状を見る限り、価値観などの変化により地域コミュニティの構築の遅れなどで、区への加入率の低下や、更に区から退会への増加を招いているとも考えます。</p> <p>そのためにも地域コミュニティの構築は行政にとっても必要不可欠ではないでしょうか。</p> <p>「何のために区(町内会)はあるのか」～「区は本当に必要か」～ 「区がないと行政側にとって何が不便なのか」こうした素朴な疑問を考察することなく地域活動をしていることが現在の姿になっているのではないでしょうか。</p> <p>実際、日々忙しい他やらされ感や煩わしさが強く、集金や集会、配布物、区に入っているメリットが分からないなどの意見を聞くこともあります。</p> <p>少子高齢時代を迎え、非婚化やひとり暮らしや共働き、高齢者の世帯が増加しつつ、生活様式が多様化や住民同士のつながりが薄れ、情報共有や相互理解など多くの問題に直面してはいます。</p> <p>特に各区からの情報発信は回覧板、掲示板などが中心となっているため、新しい住民や働き世代、若い世代などへの情報発信やアプローチが難しくなり、区に関わろうとする感心が非常に希薄になってきていて、区の存在は勿論、行事や活動が知られていない、更に住民同士の接点や、交流そのものが難しいといった事態につながってきています。</p> <p>更に町内会における組織は、一定の区域に住所を有する者の、地縁に基づいて形成された団体であり、自分達が暮らせる地域を安全で安心な住みよい町にするために、地域に暮らす人々によって自主的に運営されている、最も身近な自治組織でもあり、本町では区の役員が纏める業務でもあります。</p> <p>しかしながら、町内でも区の役員の担い手が不足していて、中でも40代の方が区長職を担い、それも1年おきに2度目の区長職をされている区もあります。</p> <p>このような状況を踏まえ以下の質問をする。</p>

【質問事項】

- ①町内(全18区)の区への加入率及び加入世帯の過去10年間の推移は
- ②区への加入は義務ではなく任意であるが、他市町から本町に移られた方に対して、区への加入をどのように促されているのか
- ③分譲マンションや賃貸住宅に住まわれている方の加入が極めて低い状況ですが、何らかの対策を講じているか
- ④外国籍の方の加入率はどうか、又、加入をどのようにして促進しているのか
- ⑤今月(9月)は区加入強化月間になっているが、未加入の世帯に対してどのようなアプローチをするのか
- ⑥区加入者の減少が年々顕著になっているが、何故減少し続けているかの対策を講じているか
- ⑦現在、区に加入している世帯を対象に、町からどのような支援をされているか。(現在されていない場合、今後はどうしていくのか)
- ⑧町内会役員の担い手の先細りが予想されていますが、町としての対策はされているか
- ⑨区の役員への有償ボランティアへの考えはあるか
- ⑩区長会での各区長からの意見(過去の区長の意見も含む)は都度検討されているか